

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
)
Tetsuo NAKATA, et al.)
) Group Art Unit: To be Assigned
Application No.: To be Assigned)
) Examiner: To be Assigned
Filed: March 20, 2001)
)
For: SALE DEVICE WITH A FUNCTION)
TO AUTHENTICATE A PURCHASER)
AND METHOD THEREOF)

j1017 U.S. PTO
09/812551
03/21/01

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant(s) submit(s)
herewith a certified copy of the following foreign application:

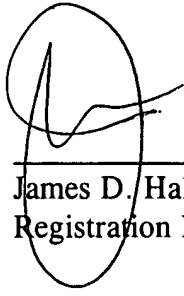
Japanese Patent Application No. 2000-308318
Filed: October 6, 2000.

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing
date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements
of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: March 20, 2001

By: _____


James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

Date of Application: October 6, 2000

Application Number: Patent Application No. 2000-308318

Applicant(s): FUJITSU LIMITED

February 16, 2001

Commissioner,
Patent Office Kozo Oikawa

Certificate No. 2001-3007752

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年10月 6日

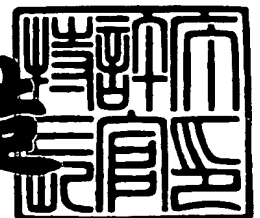
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-308318

出 願 人
Applicant (s): 富士通株式会社

2001年 2月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3007752

【書類名】 特許願

【整理番号】 0051652

【提出日】 平成12年10月 6日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明の名称】 購入者を証明する機能を有する販売装置及びその方法

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
株式会社富士通青森システムエンジニアリング内

 【氏名】 中田 哲男

【発明者】

 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
株式会社富士通青森システムエンジニアリング内

 【氏名】 長瀬 光政

【発明者】

 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
株式会社富士通青森システムエンジニアリング内

 【氏名】 湯上 孝史

【発明者】

 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
株式会社富士通青森システムエンジニアリング内

 【氏名】 赤木 淳

【発明者】

 【住所又は居所】 青森県青森市大字野木字山口245番9（番地なし）
株式会社富士通青森システムエンジニアリング内

 【氏名】 木村 修

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100074099

【住所又は居所】 東京都千代田区二番町 8 番地 2 0 二番町ビル 3 F

【弁理士】

【氏名又は名称】 大菅 義之

【電話番号】 03-3238-0031

【選任した代理人】

【識別番号】 100067987

【住所又は居所】 神奈川県横浜市鶴見区北寺尾 7 - 2 5 - 2 8 - 5 0 3

【弁理士】

【氏名又は名称】 久木元 彰

【電話番号】 045-573-3683

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 012542

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9705047

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 購入者を証明する機能を有する販売装置及びその方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 著作物を販売する方法であって、
前記著作物を販売し、
ネットワークを介して前記著作物を購入した購入者に関する情報を提供する、
ことを特徴とする販売方法。

【請求項 2】 前記著作物を販売する際に、前記著作物についての著作権に
基づく権利単位に販売する、
ことを特徴とする請求項 1 記載の販売方法。

【請求項 3】 前記購入者に関する情報を提供する際に、前記販売された権
利単位に前記購入者に関する情報を提供する、
ことを特徴とする請求項 2 記載の販売方法。

【請求項 4】 前記著作物を販売する販売者に対して、前記著作物の種別
に対応して著作権に基づく権利を通知し、

前記通知された権利のうち販売対象とする権利に関する情報を前記販売者から
取得する、

ことを特徴とする請求項 2 記載の販売方法。

【請求項 5】 前記購入者に関する情報は、任意の者に対して提供される、
ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 いずれか記載の販売方法。

【請求項 6】 購入代金の入金を確認した後、前記購入者に関する情報を提
供する、

ことを特徴とする請求項 1 乃至 5 いずれか記載の販売方法。

【請求項 7】 著作物を購入する方法であって、
前記著作物を購入し、
前記著作物の購入者としてネットワークを介して公開されることにより、前記
購入者として証明を受ける、
ことを特徴とする購入方法。

【請求項 8】 著作物の販売を委託する方法であって、

前記著作物について著作権に基づく権利単位に販売を委託し、
前記権利を購入した購入者に関する情報の提供を受ける、
ことを特徴とする販売委託方法。

【請求項 9】 コンピュータに実行させることによって、著作物を販売する
制御を該コンピュータに行なわせるプログラムを記録した、コンピュータで読み
取り可能な記録媒体であって、

前記著作物を販売し、
ネットワークを介して前記著作物を購入した購入者に関する情報を提供する、
ことを含む制御をコンピュータに行なわせるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項 10】 ネットワークに接続され、著作物を販売する販売装置であ
って、

前記著作物を購入した購入者に関する情報を取得する購入情報取得手段と、
前記ネットワークを介して前記購入者に関する情報を提供する情報提供手段と

を備えることを特徴とする販売装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、商品の販売に関し、特に小説、絵画、ソフトウェア等の著作物の販
売に係わるシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、通信技術の発達により、ネットワークを介して種々の物品が売買される
ようになっている。売買される物品として、例えば、従来のハードウェア等の商
品に加え、ゲーム及びコンピュータグラフィック等のソフトウェア並びに小説、
絵画、写真等、様々な著作物も扱われるようになっている。

【0003】

これらの著作物について違法コピーによる著作権侵害が問題となる。この問題
は、電子化された著作物の場合に顕著である。この問題を解決するために、電子

化された著作物の場合、秘密鍵等を利用した暗号化技術等が採用されている。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、電子化された著作物の場合、従来において採用される暗号化等の防御技術の発展とともに、防御技術を解除する破壊技術も発展しているため、将来、著作権侵害がなくなることは期待できそうにないという問題があった。

【 0 0 0 5 】

また、一方で、どのような著作物であっても、一般の利用者は、著作権について十分な知識を有していない場合がしばしばあり、利用者は、自分にどのような権利が与えられているのか十分に理解していないために、購入した商品を利用する際に、知らずに著作権を侵害する行為を行ってしまう恐れもあるという問題もあった。

【 0 0 0 6 】

以上の問題に鑑み、著作物を販売しつつ、故意に著作権を侵害する者に対しては、その行為を抑止し、著作権を十分理解していない購入者に対しては、知らずに著作権を侵害することを防ぐことを可能とすることが、本発明が解決しようとする課題である。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明は、著作物を販売する際にとりわけ利用価値の高いものである。

本発明の1つの態様によれば、ネットワークに接続され、著作物を販売する販売装置において、著作物を購入した購入者に関する情報を取得する購入情報取得手段と、ネットワークを介して購入者に関する情報を提供する情報提供手段と、を備えるように構成する。

【 0 0 0 8 】

ネットワークを介して購入者に関する情報を提供し、その情報を販売者が閲覧することにより、著作物がどのくらい購入されたのか知るとともに、購入者を確認することが可能となる。延いては、購入者と著作権を侵害する侵害者とを比較的容易に区別することが可能となる。

【0009】

また、購入者は、自分が正当な権利を有することを販売装置によって証明されるため、侵害者ではないかと疑いをかけられても比較的容易にその疑いを晴らすことが可能となる。

【0010】

また、この購入者に関する情報を公開することとしてもよい。これにより、正当に著作物を購入した購入者がいることを示すことにより侵害しようとする者のモラルに訴えかける。故意に著作権を侵害しようとする者に対して、その侵害行為を抑止する効果を期待できるようになる。

【0011】

また、上記構成において、購入情報取得手段は、著作物を著作権に基づく権利単位に販売し、販売した権利単位に購入者に関する情報を取得することとしてもよい。これにより、販売者又は購入者が販売又は購入した権利を、明確にすることが可能となる。

【0012】

また、上記構成において、購入者に関する情報を提供する際に、販売された権利単位に購入者に関する情報を提供する購入権利情報提供手段を更に備えることとしても良い。権利単位に提供される情報を閲覧することにより、購入者は、著作権法を十分理解していない場合であっても、購入した権利を確認することができるため、知らずに著作権を侵害することを防ぐことが可能となる。

【0013】

また、上記構成において、著作物を販売する販売者に対して、著作物の種別に対応して著作権に基づく権利を通知し、通知された権利のうち販売対象とする権利に関する情報を取得する作品情報取得手段を、更に備えることとしても良い。作品の種別に対応して販売の対象となりうる権利を販売者に通知し、通知された権利の中から販売対象とする権利を販売者に選択させることにより、販売者が誤って販売することができない権利を販売対象とすることを防ぐことが可能となる。

【0014】

また、上記構成において、購入代金の入金を確認する入金確認手段を更に備え、入金確認手段が購入代金の入金を確認した後、情報提供手段が購入者に関する情報を提供することとしてもよい。

【0015】

また、本発明の別の態様によれば、著作物を販売する方法において、著作物を販売し、ネットワークを介して著作物を購入した購入者に関する情報を提供する。こうすることによっても、上述の課題を解決することが可能である。

【0016】

なお、上述した各構成により行われる機能と同様の制御をコンピュータに行わせるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体から、そのプログラムをコンピュータに読み出させて実行させることによっても、前述した課題を解決することができる。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を用いて説明する。なお、同じ装置等には同じ参照番号をつけ、説明を省略する。

【0018】

図1に、本発明の実施形態に係わる購入者を証明する機能を有する販売システムの構成を示す。図1に示すように、ネットワークNを介して、購入者や第三者の端末TA、作品の販売者（多くの場合、販売者は作者でもある）の端末TB及び販売装置1が接続されている。ネットワークNは、1つのネットワークであっても、複数のネットワークの組み合わせであってもよい。ネットワークNとして、インターネット、電話回線網、無線回線網等のWAN（Wide Area Network）及びLAN（Local Area Network）等が考えられる。購入者、第三者及び販売者は、端末TA及びTBを介して、販売装置1と情報をやり取りする。端末TA及びTBとして、例えば、設置型の端末や携帯電話、ポータブルコンピュータ等の携帯情報端末が考えられる。

【0019】

販売装置1は、登録された作品を販売しつつ、購入者が購入した権利について

の情報である購入権利情報を、ネットワークを介して提供することにより、その権利を購入者が購入したことを証明する。販売装置 1 は、作品情報取得部 2、情報提供部 3、入金確認部 6、購入情報取得部 7、作品種別テーブル 11、権利テーブル 12、作者マスタ 13、作品マスタ 14、購入情報ファイル 15、銀行マスタ 16 及び支店マスタ 17 を備える。

【0020】

作品情報取得部 2 は、作品の販売者から作品に関する情報である作品情報を取得する。作品情報は、作品及び作品について販売される著作権に基づく権利についての情報を含む。作品情報取得部 2 は、取得した作品情報を作品マスタ 14 に格納する。なお、作品情報取得部 2 は、販売者が作品情報を登録しようとしている作品の種別を用いて作品種別テーブル 11 及び権利テーブル 12 を参照し、作品の種別に対応して著作権に基づく権利、つまり、販売の対象となりうる権利に関する情報を取得し、取得した情報を販売者に通知することが可能となる。延いては、販売者が誤って販売することができない権利を販売対象とすることを防ぐことが可能となる。

【0021】

情報提供部 3 は、作品情報提供部 4 及び購入権利情報提供部 5 を備える。作品情報提供部 4 は、作者に関する情報である作者情報及び作品情報取得部 2 が取得した作品情報を、ネットワーク N を介して提供する。購入権利情報提供部 5 は、購入情報取得部 7 が取得した購入情報に基づいて、購入者が購入した各作品の権利についての情報である購入権利情報を提供する。

【0022】

また、入金確認部 6 は、購入者が作品（作品の権利）の購入代金を所定の口座に入金したことを確認する。入金確認部 6 が入金を確認すると、購入権利情報提供部 5 は、入金した購入者に対応する購入権利情報を提供する。購入情報取得部 7 は、作品の購入に関する情報である購入情報を、その作品を購入したい者から取得し、購入情報ファイル 15 に格納する。購入情報は、購入者に関する情報及び購入される作品の権利についての情報を含む。

【0023】

情報提供部 3 が提供する情報は、何人もネットワーク N を介して閲覧することができる。従って、販売者にとって、購入権利情報を閲覧することにより、著作物がどのくらい購入されたのか知るとともに、購入者及び購入された権利を確認することができるため、購入者と著作権を侵害する侵害者とを比較的容易に区別することが可能となる。

【 0 0 2 4 】

また、購入者にとって、購入権利情報が公開されることにより、自分が正当な権利を有することを販売装置 1 によって証明されるため、侵害者ではないかと疑いをかけられても比較的容易にその疑いを晴らすことが可能となる。また、購入権利情報を閲覧することにより、自分が購入した権利を容易に確認することができるため、著作権法を十分理解していない購入者であっても、知らずに著作権を侵害することを防ぐことが可能となる。

【 0 0 2 5 】

また、購入権利情報を公開することによって、正当に購入代金を払って権利を購入する購入者がいることを示し、侵害しようとする者のモラルに訴えかけるため、故意に著作権を侵害しようとする者に対しては、その侵害行為を抑止する効果を期待できる。

【 0 0 2 6 】

以下、図 2 を用いて著作権に基づく権利について説明する。図 2 に、著作物の種類に対応して著作物に基づいて生じる権利の一例を示す。なお、図 2 は、2 0 0 0 年 9 月現在の日本の著作権法に基づく。例えば、著作物が音楽である場合、生じる権利は、複製権、上演権・演奏権、公衆送信権、貸与権及び翻訳権・翻案権である。その他の著作権についても○印を付したところの権利が生じる。このように、著作物の種類に対応して、生じる権利は異なる。

【 0 0 2 7 】

以下、図を用いて各テーブル、ファイル等のデータ構造について説明する。各図において、格納されるデータ項目（データ名称）並びに各データの属性、データ長及び具体的に格納されるデータが例示されている。

【 0 0 2 8 】

以下、図 3 に作品種別テーブルのデータ構造の一例を示す。作品種別テーブル 1 1 は、作品（著作物）の種別に対応して著作物に基づいて生じる権利に関する情報である作品種別情報を格納する。作品種別情報は、作品の種別を識別する作品種別コード、作品の種別名及び権利フラグテーブルを含む。権利フラグテーブルは、著作物に基づいて生じる権利を示し、フラグが 1 の場合は、権利が生じている状態を、フラグが 0 の場合は生じていない状態を示す。

【 0 0 2 9 】

図 3 において用いられる各権利コードが示す権利は、図 4 に示す権利テーブル 1 2 に定義されている。図 3 では権利コード 1、3、4、6 及び 7 にフラグがたっている。したがって図 4 の権利テーブルの対応する番号から、複製権（0 1）、公衆送信権（0 3）、展示権（0 4）、貸与権（0 6）及び翻訳権・翻案権（0 7）が生じることが示される。すなわち、図 3 及び図 4 の例において、「作品の種別が絵画の場合、著作物に基づいて複製権、公衆送信権、展示権、貸与権及び翻訳権・翻案権が生じる」ことが示されている。

【 0 0 3 0 】

このように、図 3 及び図 4 に示す作品種別テーブル 1 1 及び権利テーブル 1 2 を用いて、図 2 に示す内容がデータとして格納される。作品種別テーブル 1 1 及び権利テーブル 1 2 は、予め販売装置 1 のデータベースに格納され、必要に応じて、例えば著作権法が改正された場合などに、随時更新される。

【 0 0 3 1 】

図 5 に作者マスタ 1 3 のデータ構造の一例を示す。作者マスタ 1 3 は、作品の作者に関する情報である作者情報を格納する。作者情報は、作者を識別する作者コード、作者の個人情報、購入代金の振込に用いる口座に関する情報及び作者の自己紹介等を含む。個人情報として、例えば、氏名、郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス、性別、年齢及び職業が考えられる。口座に関する情報として、例えば、金融機関（銀行等）を識別する銀行コード、支店を識別する支店コード及び口座を識別する口座番号等が考えられる。作者マスタ 1 3 に格納される情報は、販売者（作者）が入力する情報に基づく。銀行コード及び支店コードの定義は、それぞれ銀行マスタ 1 6 及び支店マスタ 1 7 に格納される。本実施形

態においては、予め作者情報が登録されているとして説明するが、作品情報取得部 2 が、随時作者情報も取得することとしても良い。

【 0 0 3 2 】

図 6 に作品マスタ 1 4 のデータ構造の一例を示す。作品マスタ 1 4 は、作品に関する情報である作品情報を格納する。作品情報は、作品の種別を識別する作品種別コード、作品を識別する作品コード、作品が電子化された作品の場合、作品のデータファイル名、絵画等の場合、作品見本を示すデータファイル名、作品名、作品が販売装置 1 に登録された時期を示す作品登録日、作品を紹介する情報である作品紹介情報及びその作品について売買が設定された権利を示す売買設定テーブルを含む。売買設定テーブルは、図 3 及び 4 に示す作品種別に対応して著作権に基づいて生じる権利について、販売者が販売対象とする権利、販売対象として設定する数（設定数）、在庫数及び販売金額（設定金額）を格納する。

【 0 0 3 3 】

図 6 の売買設定テーブルの例では、権利コード 1 の欄に図 3 に記載された権利コード 1 が設定数 1 0、在庫数 2、金額 1 0 0 0 円として、権利コード 2 の欄に図 3 に記載された権利コード 4、6、7 が設定数 0 として（したがって、在庫数、金額も 0 となる）設定されていることが示されている。在庫数以外の情報は販売者が入力する情報に基づいて作品情報取得部 2 によって格納される。在庫数は、作品が購入される毎に購入情報取得部 4 によって更新される。

【 0 0 3 4 】

図 7 に、購入情報ファイル 1 5 のデータ構造の一例を示す。購入情報ファイル 1 5 は、購入に関する情報である購入情報を格納する。購入情報は、購入された作品及び権利を示す作品コード及び権利コード、購入者の個人情報、並びに支払方法、購入の予約日、支払期限日、入金が確認された時期である入金日、入金額及び入金されたことを示す入金フラグを含む。個人情報は、作者マスタ 1 3 に格納される作者の個人情報と同様の項目の情報を含む。

【 0 0 3 5 】

作品コード、権利コード、購入者の個人情報、支払方法及び予約日は、購入者が入力した情報に基づく。支払期限日は、購入情報を取得した際に購入情報取得

部 7 によって格納される。入金日、入金額及び入金フラグは、入金を確認した際に入金確認部 6 によって格納される。

【0036】

図 8 及び図 9 に、銀行マスタ及び支店マスタのデータ構造の一例を示す。銀行マスタ 16 及び支店マスタ 17 は、各コードが示す銀行及び支店を定義する。銀行マスタ 16 及び支店マスタ 17 は、予め販売装置 1 のデータベースに格納され、必要に応じて随時更新される。

【0037】

以下、図 10 を用いて、本システムにおけるデータ変遷について説明する。図 10 において、データベースからデータを取得する場合を破線の矢印で、データベースにデータを格納する又はデータベースに格納されたデータを更新する場合を実線の矢印で示す。

【0038】

まず、作品情報取得部 2 は、販売者の入力に基づいて作者情報を作成し、作者マスタ 13 に格納する（不図示）。作品情報取得部 2 は、販売者から作品情報を取得する際、販売者の入力に基づいて作品種別を特定し、特定された作品種別に対応する作品種別情報を作品種別テーブル 11 から取得し（矢印 A1）、権利コードの定義を権利テーブル 12 から取得する（矢印 A2）。また、販売者に作者コードを入力するよう指示し、作者コードを用いて作者マスタ 13 を参照することにより作者名を取得する（矢印 A3）。取得した作品種別情報及び権利コードの定義に基づいて、作品情報取得部 2 は、販売者にその作品種別で生じる著作権に基づく権利を示すとともに、作品情報を入力するよう指示する。指示する際に、販売者の端末の画面に取得した作者名を出力する。販売者は、作者名を確認するとともに、販売したい作品に関する作品情報、販売したい権利、設定金額及び設定数を入力する。作品情報取得部 2 は、取得した作品情報を作品マスタ 14 に格納する（矢印 A4）。

【0039】

購入者が販売装置 1 で販売される作品の購入処理を指示した場合、購入情報取得部 7 は、購入された作品の作品コードを用いて作品マスタ 14 を参照すること

により、購入された作品に対応する作品情報に含まれる、購入された権利の在庫数を1デクリメントする（矢印A5）。さらに、購入情報取得部7は、購入者から購入情報を取得し、購入情報ファイル15に格納する。

【0040】

入金確認部6は、所定の口座に入金があったか否かを確認する。入金があったことを確認した場合、入金確認部6は、金融機関から通知される入金を知らせる入金情報に含まれる情報、例えば入金者の氏名及び電話番号を用いて購入情報ファイル15を参照することにより、入金者に対応する購入情報を取得し、購入情報に入金日を格納し（矢印A7）、入金フラグをオン（1の場合がオンを示す）とする（矢印A8）。入金された購入代金は、作者マスタ13に格納された作者情報に含まれる作者の口座に関する情報に基づいて作者に送金される。

【0041】

任意の者が作品情報及び・又は購入権利情報を閲覧することを指示した場合、情報提供部3の作品情報提供部4は、任意の者によって選択された作品の作品コードを用いて作品マスタ14を参照することにより、選択された作品に対応する作品情報を取得し、任意の者に提供する（矢印A9）。購入権利情報提供部5は、任意の者によって選択された作品及び権利の作品コード及び権利コードを用いて購入情報ファイル15を参照することにより、選択された作品及び権利に関する購入情報を検索し、検索の結果得られた購入情報のうち入金フラグがオンになっている購入情報から購入者の氏名及び予約日（購入日）を取得する（矢印A10及びA11）。取得された購入者の氏名及び予約日を任意の者に提供する。

【0042】

以下、図11から図13のフローチャート及び図14から図21の表示画面の図を用いて販売装置1が行う処理の大まかな流れについて画面遷移を適宜示しながら説明する。なお、以下の処理において情報の入出力の際にGUI（Graphic User Interface）を採用するとして説明するが、本発明を限定する趣旨ではない。

【0043】

まず、図11から説明する。販売装置1は、販売装置1にネットワークNを介

してアクセスした者（以下、アクセス者という）に、閲覧又は登録したい作品の種別を選択するよう指示する（ステップS10）。図14に、アクセス者の端末TA又はTBに出力される閲覧又は登録したい作品の種別を選択する画面（作品種別選択画面）の一例を示す。図14に示すように、作品の種別がいくつか画面に出力されている。なお、図14に示す作品の種別は例示にすぎず、本システムにおいて扱う作品の種別を限定する趣旨ではない。

【0044】

販売装置1は、アクセス者の入力を待ち（ステップS11）、作品の種別が選択されると（ステップS12からステップS14）、ステップS16に進む。他の処理が指定されると、指定された処理を行って処理を終了する（ステップS15）。

【0045】

作品の種別が選択されると、販売装置1は、アクセス者に作品を閲覧するのか、登録するのかいずれの処理を行うのか選択するよう指示し（ステップS16）、アクセス者の入力を待つ（ステップS17）。図15に、アクセス者の端末TA又はTBに出力される閲覧・登録のいずれかの処理を選択する画面（閲覧登録選択画面）の一例を示す。図15において、アクセス者は、閲覧をする場合は「展示品を見る」を選択し、作品を登録する場合は「作品を送る」を選択する。

【0046】

ステップS17において「作品の閲覧」が選択されると（ステップS18：Yes）、販売装置1の情報提供部3は、作品を展示する処理を行う（ステップS21）。ステップS21の処理について詳しくは後述する。図16は、作品を展示する画面の一例を示す。図16において、販売装置1で販売されている作品の見本（縮小画像等）及び販売されている権利の種類が示されている。表の各欄において、「○」が格納されている場合は、その作品のその権利は購入可能であり、「販売終了」が格納されている場合は、在庫切れ、「×」が格納されている場合は、「購入不可」であることを示す。

【0047】

作品を展示した後、販売装置1はアクセス者の入力を待ち（ステップS22）

、アクセス者が展示されている作品及び権利の中から詳細な情報の提供を希望する1つを選択した場合（ステップS23：Yes）、分岐B1（図12に示す）に進む。他の処理が指定されると（ステップS23：No）、指定された処理を行って処理を終了する（ステップS24）。

【0048】

ステップS17において「作品の登録」が選択されると（ステップS19：Yes）、分岐B2（図13に示す）に進む。作品の閲覧及び登録以外の処理が選択されると（ステップS19：No）、指示された処理を行って処理を終了する（ステップS20）。

【0049】

分岐B1以降について、図12を用いて説明する。分岐B1に進むと、販売装置1の情報提供部3は、選択された作品及び権利についての詳細な情報を提供する処理を行い（ステップS30）、アクセス者の入力を待つ（ステップS31）。ステップS30で情報提供部3が行う処理について詳しくは後述する。

【0050】

図17に、選択された作品及び権利について詳細な情報を提供する画面（購入権利情報画面）の一例を示す。図17において、選択された作品の作品名、作者名、作品の見本（又は作品の外観）及び選択された権利の種類並びに、選択された権利の価格、在庫数、既購入者名及び購入年月日が出力されている。

【0051】

このように、情報提供部3が購入された作品及び権利に関する情報を公開することにより、何人も権利の既購入者について情報が得られる。従って、販売者にとって購入者及び購入された権利を容易に確認することが可能となる。購入者にとって、自分が正当な権利を有することを証明し、自分が購入した権利を容易に確認することが可能となる。また、故意に著作権を侵害しようとする者に対しては、その侵害行為を抑止する効果を期待できるようになる。

【0052】

なお、図17において、作品名、作者名には、それぞれ作品及び作者についての詳細な情報へのリンクがはられ、アクセス者はこれら情報を提供するように指示

することができる。また、図16において、対応する欄に「○」が格納されている作品及び権利をアクセス者が選択した場合（「○」がクリックされて図17が出力された場合）、図17に購入処理へ移行する「購入」ボタンが設けられている。対応する欄に「販売終了」が格納されている作品及び権利を選択した場合（「販売終了」がクリックされて図17が出力された場合）、図17に「購入」ボタンは表示されない。

【0053】

ステップS31において、アクセス者が作品の詳細な情報を提供するように指示した場合（ステップS32：Yes）、分岐B3（図13に示す）に進む。アクセス者が作者の詳細な情報を提供するように指示した場合（ステップS33：Yes）、分岐B4（図13に示す）に進む。アクセス者が権利の購入処理を選択した場合（ステップS34：Yes）、ステップS36に進む。これら以外の処理を選択した場合（ステップS34：No）、選択された処理を行った後、処理を終了する（ステップS35）。購入処理が選択されると、購入情報取得部7は、アクセス者（購入者でもある）に購入情報を入力するように指示し（ステップS36）、アクセス者の入力を待つ（ステップS37）。図18に、購入情報を入力する際にアクセス者の端末の出力される画面（購入画面）の一例を示す。図18に示す画面の指示に従って、アクセス者は購入情報を入力し、入力した情報を確認し、購入して良ければ「購入」ボタンを押下する。購入を取り消したい場合は「キャンセル」ボタンを押下する。

【0054】

アクセス者が購入することを決定した場合（ステップS38：Yes）、購入情報取得部7は、入力された購入情報を取得する処理を行う（ステップS41）。購入情報を取得する処理について詳しくは後述する。アクセス者が購入を取消することを決定した場合（ステップS39：Yes）、分岐B1に進み、ステップS30に戻る。これら以外の処理をアクセス者が選択した場合（ステップS39：No）、販売装置1は指定された処理を行った後、処理を終了する（ステップS40）。

【0055】

分岐 B 2、B 3 及び B 4 以降について、図 13 を用いて説明する。分岐 B 2 に進むと、作品情報取得部 1 は、作品情報を入力するよう、アクセス者（販売者又は作者でもある）に指示し（ステップ S 50）、アクセス者の入力を待つ（ステップ S 51）。登録情報の入力を指示する際の処理についてより詳しくは後述する。

【0056】

図 19 に、作品を登録する際にアクセス者の端末に出力される作品情報を入力する画面（作品登録画面）の一例を示す。図 19 は、作品種別が絵画である場合を示す。図 19 において、電子化された絵画のファイル名を入力するボックス、販売するその作品について各権利を販売するか否かを選択するチェック欄、販売する場合に販売する際の価格（設定金額）、販売数（設定数）を入力するボックス及び作品を紹介する情報を入力するボックスが設けられている。アクセス者は画面の指示に従って情報を入力し、登録してよければ、「登録」ボタンを押下する。また、「作者登録画面へ」ボタンを押下してさらに作者に関する情報を入力した後に、作品を登録することとしてもよい。登録を中止したければ、「キャンセル」ボタンを押下する。

【0057】

図 19 に示す作品登録画面において、作品種別に対応して販売できる権利が、販売対象として示される。例えば、作品種別が絵画の場合、著作権に基づいて生じる権利は複製権、公衆送信権、展示権、貸与権及び翻案権であるため、これら生じる権利が販売対象として出力されることとなる。これにより、アクセス者（販売者）が、著作権について十分理解していない場合であっても、誤って販売できない権利を販売してしまうことを防ぐことが可能となる。

【0058】

ステップ S 51 において、アクセス者が登録を指示した場合（ステップ S 52：Yes）、作品情報取得部 2 は、入力された作品情報を取得する（ステップ S 55）。作品情報を取得する処理について詳しくは後述する。ステップ S 31 において、アクセス者が登録中止を指示した場合（ステップ S 53：Yes）、分岐 B 2 に戻る。これら以外の処理をアクセス者が指示した場合（ステップ S 53

: N o) 、指示された処理を行った後、処理を終了する (ステップ S 5 4) 。

【 0 0 5 9 】

図 1 2 で分岐 B 3 に進んだ場合、情報提供部 3 の作品情報提供部 4 は、選択された作品に対応する作品コードを用いて作品マスタ 1 4 を参照することにより、選択された作品に対応する作品情報から作品紹介情報を取得し、アクセス者に提供し (ステップ S 5 6) 、アクセス者の入力を待つ (ステップ S 5 7) 。図 2 0 に、作品の詳細情報を提供する画面の一例を示す。図 2 0 は、図 1 7 に示す購入権利情報画面とほぼ同様であるが、図 1 7 に示す商品設定及び既購入者に関する情報の代わりに、作品紹介情報が出力されている。アクセス者が入力すると (ステップ S 5 7 : Y e s) 、指定された処理を行った後、処理を終了する (ステップ S 5 8) 。

【 0 0 6 0 】

図 1 2 で分岐 B 4 に進んだ場合も、分岐 B 3 に進んだ場合と同様の処理を行う。異なる点は、分岐 B 3 の場合はステップ S 5 6 において作品コードを用いて作品マスタ 1 4 を参照するが、分岐 B 4 の場合は作者コードを用いて作者マスタ 1 3 を参照し、作者に対応する作者情報からプロフィールを取得してアクセス者に提供することである (ステップ S 5 6') ステップ S 5 6' 以降は、分岐 B 3 と同様にステップ S 5 7 及びステップ S 5 8 を行う。図 2 1 に、作者の詳細情報を提供する画面の一例を示す。

【 0 0 6 1 】

以下、各処理を詳細に説明する。図 1 1 のステップ S 2 2 において、情報提供部 3 は、販売装置 1 において販売されている作品及び権利を、図 1 6 に示す作品一覧画面を用いて一覧展示する。図 2 2 を用いて、図 1 1 のステップ S 2 1 で行う作品一覧画面表示処理について詳細に説明する。図 2 2 において、点線で描かれた 2 つの矩形に挟まれる処理は 1 画面分毎に行われる。つまり、予め 1 画面に出力する最大作品数を設定し、全作品数を、1 画面に出力する最大作品数で除した回数 (割り切れない場合はさらにプラス 1) だけ処理を繰り返す。

【 0 0 6 2 】

情報提供部 3 の作品情報提供部 4 は、図 1 1 のステップ S 1 2 から 1 4 におい

て選択された作品種別に対応する種別コードを用いて作品マスタ14を参照し、選択された作品種別に該当する作品の作品情報を取得する（ステップS60）。例えば、ステップS12で絵画が選択された場合、作品情報提供部4は、絵画に対応する種別コードを用いて作品マスタ14を参照する。作品情報提供部4は、取得した作品情報に含まれるファイル名を用いて作品見本を作成し、画面にセットする（ステップS61）。

【0063】

一点鎖線で描かれた2つの矩形に挟まれる処理は、各作品の各権利について行われる。作品情報提供部4は、まず、1つの作品情報に含まれる1つの権利コードについて、設定数が0（零）であるか否か判定する（ステップS62）。設定数が0（零）である場合（ステップS62：Yes）、作品情報提供部4は、画面の該当する権利に対応する欄に販売不可を示す「×」をセットし（ステップS63）、他の権利についての処理に移行しステップS62に戻る。

【0064】

設定数が0（零）でない場合（ステップS62：No）、作品情報提供部4は、さらにその権利コードについての在庫数が0（零）であるか否か判定する（ステップS64）。在庫数が0（零）である場合（ステップS64：Yes）、作品情報提供部4は、画面の該当する権利に対応する欄に「販売終了」をセットし（ステップS65）、他の権利についての処理に移行しステップS62に戻る。在庫数が0（零）でない場合、作品情報提供部4は、画面の該当する権利に対応する欄に販売可能な状態を示す「○」をセットし（ステップS65）、他の権利についての処理に移行し、ステップS62に戻る。

【0065】

作品情報提供部4は、1つの作品についての全ての権利についてステップS62からステップS66を行った後、他の作品について同様の処理を行う。このようにして、作品情報提供部4は、販売されている作品及び権利に関する情報をアクセス者に提供する。

【0066】

図12のステップS30の購入権利情報提供処理において、情報提供部3は、

アクセス者が選択した作品及び権利について購入権利情報を、図17に示す購入権利情報画面において提供する。図23を用いて、図12のステップS30で行う処理について詳細に説明する。

【0067】

まず、情報提供部3の作品情報提供部4は、図11のステップS23で選択された作品及びその権利に対応する作品コード及び権利コードを取得する。作品情報取得部4は、作品コードを用いて作品マスタ14を参照することにより、選択された作品に対応する作品情報を取得し（ステップS70）、取得した作品情報から作品名、作者名、作品ファイル名を取得し、作品ファイルに基づいて作品見本を作成する。さらに、作品情報提供部4は、権利コードを用いて作品情報から選択された権利に対応する設定金額、販売数及び在庫数を取得する。作品情報提供部4は、作品名、作者名、作品見本、設定金額、販売数及び在庫数を選択された権利名とともに画面にセットする（ステップS71）。

【0068】

以下のステップS72からステップS74の処理は、その作品の権利に対応する購入情報全てについて繰り返す。購入権利情報提供部5は、作品コード及び権利コードを用いて購入情報ファイル15を参照し、選択された作品の権利を購入した購入者の購入情報を1件取得する（ステップS72）。購入権利情報提供部5は、取得した購入情報に含まれる入金フラグがオンになっているか否か判定する（ステップS73）。

【0069】

フラグがオンになっている場合（ステップS73：Yes）、購入権利情報提供部5は、購入情報に含まれる購入者の氏名及び予約日（購入日）を画面にセットした後（ステップS74）、ステップS72に戻り、他の購入情報について同様の処理を行う。フラグがオンになっていない場合（ステップS73：No）、購入権利情報提供部5は、ステップS74を行わないでステップS72に戻り、他の購入情報について同様の処理を行う。

【0070】

図12のステップS41の購入情報取得処理において、購入情報取得部7は、

購入者から購入情報を取得する。図 2 4 を用いて、図 1 2 のステップ S 4 1 で行う処理について詳細に説明する。

【 0 0 7 1 】

まず、購入情報取得部 7 は、図 1 8 に示す購入画面で購入者が入力した情報を取得する（ステップ S 8 0）。購入情報取得部 7 は、取得した情報からエラーを検出する（ステップ S 8 1）。例えば、必須事項の記入漏れがある等を検出する。エラーがあったされた場合（ステップ S 8 2 : Y e s）、購入情報取得部 7 は、入力された情報にエラーがあった旨を購入者に通知し（ステップ S 8 3）、処理を終了する。エラーがなかった場合（ステップ S 8 2 : N o）、購入情報取得部 7 は、入力された情報に基づいて購入情報を作成し、購入情報ファイル 1 5 に格納する（ステップ S 8 4）。購入情報取得部 7 は、購入者が入力した電子メールアドレス（又は電話番号等）を用いて、購入を確認し（ステップ S 8 5）、処理を終了する。

【 0 0 7 2 】

図 1 3 のステップ S 5 0 の作品登録情報入力指示の処理において、作品情報取得部 2 は、作品情報を入力するようアクセス者（販売者）に指示する。図 2 5 を用いて、図 1 9 に示す作品登録画面に則して図 1 3 のステップ S 5 0 で行う処理について詳細に説明する。

【 0 0 7 3 】

分岐 B 2 に進む前に、図 1 1 のステップ S 1 2 からステップ S 1 4 において、販売者は作品の種別を選択している。作品情報取得部 2 は、選択された作品種別に対応する種別コードを用いて作品種別テーブル 1 1 を参照することにより、選択された作品種別に対応する作品種別情報を取得し（ステップ S 9 0）、さらに、権利テーブル 1 2 から各権利コードに対応する権利名を取得する（ステップ S 9 1）。

【 0 0 7 4 】

作品種別情報は、作品種別に対応して著作権に基づいて生じる権利を示す。作品情報取得部 2 は、作品種別情報に基づいて、販売対象となりうる各権利について、販売可否、販売する場合の設定金額及び販売数量を入力する欄を画面（図 1

9に示す作品登録画面)にセットする(ステップS92)。これにより、販売者が、販売することができない権利を販売対象として設定することを防ぐことが可能となる。

【0075】

また、作品情報取得部2は、販売者に作者コードを入力するように指示し(指示のタイミングはもっと前でもよい)、入力された作者コードを用いて作者マスタ13を参照し、作者コードに対応する作者情報から作者名を取得する(ステップS93)。作品情報取得部2は、作者名を画面にセットする(ステップS94)。販売者(多くの場合作者でもある)作者名を確認することにより、誤って他人の作品として作品を登録することを防ぐことが可能となる。

【0076】

さらに、作品情報取得部2は、作品のファイル名及び作品紹介情報を入力するボックスを画面にセットする(ステップS95)。作品情報取得部2は、作成された画面を販売者の端末TBに出力し、作品情報を入力するよう販売者に指示して(ステップS96)、処理を終了する。

【0077】

図13のステップS55の作品情報取得の処理において、作品情報取得部2は、販売者から作品情報を取得する。図26を用いて、図13のステップS55で行う処理について詳細に説明する。

【0078】

まず、作品情報取得部2は、図19に示す作品登録画面で販売者が入力した情報を取得する(ステップS100)。作品情報取得部2は、取得した情報からエラーを検出する(ステップS101)。エラーがあった場合(ステップS102: Yes)、作品情報取得部2は、入力された情報にエラーがあった旨を販売者に通知し(ステップS103)、処理を終了する。エラーがなかった場合(ステップS102: No)、作品情報取得部2は、入力された情報に基づいて作品情報を作成し、作品マスタ14に格納し(ステップS104)、処理を終了する。

【0079】

最後に、図27を用いて、入金を確認し、入金フラグをセットする処理につい

て説明する。この処理は、基本的に毎日行われる。まず、入金確認部6は、所定の金融機関口座に入金があったか否か判定する（ステップS110）。入金がなかった場合（ステップS110：No）、入金確認部6は処理を終了する。入金があった場合（ステップS110：Yes）、入金確認部6は、入金額、入金者名、つまり購入者の氏名及び・又は電話番号を取得する（ステップS111）。入金者の氏名及び電話番号は、通常、入金がある際に入金された金額とともに金融機関から通知される。

【0080】

入金確認部6は、入金者の氏名及び・又は電話番号を用いて購入情報ファイル15を参照し、購入者に対応する購入情報を取得し、取得された購入情報に入金日（本日の日付）及び入金額を格納し（ステップS112）、入金フラグをオンにして（ステップS113）、処理を終了する。入金フラグがオンになった購入情報の一部は、以後、購入権利情報画面において公開される。

【0081】

実施形態において説明した端末TA、TB、販売装置1は、図28に示すような情報処理装置（コンピュータ）を用いて構成することができる。図28の情報処理装置20は、CPU21、メモリ22、入力装置23、出力装置24、外部記憶装置25、媒体駆動装置26、及びネットワーク接続装置27を備え、それらはバス28により互いに接続されている。

【0082】

メモリ22は、例えば、ROM（Read Only Memory）、RAM（Random Access Memory）等を含み、処理に用いられるプログラムとデータを格納する。CPU21は、メモリ22を利用してプログラムを実行することにより、必要な処理を行う。

【0083】

本実施形態に係わる販売装置1、端末TA及びTBを構成する各機器及び各部は、それぞれメモリ22の特定のプログラムコードセグメントにプログラムとして格納される。入力装置23は、例えば、キーボード、ポインティングデバイス、タッチパネル等であり、ユーザからの指示や情報の入力に用いられる。出力装

置 2 4 は、例えば、ディスプレイやプリンタ等であり、情報処理装置 2 0 の利用者への問い合わせ、処理結果等の出力に用いられる。

【 0 0 8 4 】

外部記憶装置 2 5 は、例えば、磁気ディスク装置、光ディスク装置、光磁気ディスク装置等である。この外部記憶装置 2 5 に上述のプログラムとデータを保存しておき、必要に応じて、それらをメモリ 2 2 にロードして使用することもできる。

【 0 0 8 5 】

媒体駆動装置 2 6 は、可搬記録媒体 2 9 を駆動し、その記録内容にアクセスする。可搬記録媒体 2 9 としては、メモリカード、メモリスティック、フロッピーディスク、CD-ROM (Compact Disc Read Only Memory)、光ディスク、光磁気ディスク、DVD (Digital Versatile Disk) 等、任意のコンピュータで読み取り可能な記録媒体が用いられる。この可搬記録媒体 2 9 に上述のプログラムとデータを格納しておき、必要に応じて、それらをメモリ 2 2 にロードして使用することもできる。

【 0 0 8 6 】

ネットワーク接続装置 2 7 は、LAN、WAN 等の任意のネットワーク N (回線) を介して外部の装置を通信し、通信に伴うデータ変換を行う。また、必要に応じて、上述のプログラムとデータを外部の装置から受け取り、それらをメモリ 2 2 にロードして使用することもできる。

【 0 0 8 7 】

図 2 9 は、図 2 8 の情報処理装置 2 0 にプログラムとデータを供給することのできるコンピュータで読み取り可能な記録媒体及び伝送信号を示している。

上述の実施形態において説明した販売装置 1 に相当する機能を汎用的なコンピュータに行なわせることも可能である。そのためには、実施形態において説明した図 1 1 から図 1 3 及び図 2 2 から図 2 7 に示すフローチャートにおいて、販売装置 1 により行なわれる処理と同様のものをコンピュータに行なわせるプログラムを、コンピュータで読み取り可能な記録媒体 2 9 に予め記憶させておき、図 2 9 に示すようにしてその記録媒体 2 9 からそのプログラムをコンピュータ 2 0 に

読み出させて該コンピュータ 2 0 のメモリ 2 2 や外部記憶装置 2 5 に一旦格納させ、そのコンピュータ 2 0 の有する CPU 2 1 にこの格納されたプログラムを読み出させて実行させるように構成すればよい。

【 0 0 8 8 】

また、プログラム（データ）提供者 3 0 からコンピュータ 2 0 にプログラムをダウンロードする際に回線 3 1 （伝送媒体）を介して伝送される伝送信号自体も、上述した本発明の実施形態において説明した販売装置 1 に相当する機能を有する汎用的なコンピュータで読み取り可能なものである。

【 0 0 8 9 】

以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、他の様々な変更が可能である。

例えば、実施形態において、場合によっては電子化された著作物を用いて説明したが、電子化されていない著作物についても適用可能である。

【 0 0 9 0 】

また、例えば、販売装置は、購入者に対して購入した権利を証明する文書を発行する証明文書発行部をさらに備えることとしても良い。この文書は、印刷された文書であっても良いし、文書データであってもよい。また、文書データである場合、そのデータに電子透かしを付加することとしても良い。

【 0 0 9 1 】

また、例えば、販売装置が販売する著作物が電子化された著作物である場合、販売装置は、著作物に購入者を証明する情報を付加する証明情報付加手段を更に備えることとしても良い。この場合、購入者を証明する情報として、例えば、購入者の氏名を含む電子透かし等が考えられる。

【 0 0 9 2 】

また、販売装置 1 を構成する各部及びデータベースは、お互いに連携して動作することにより一連のビジネスプロセスを実現する。これら各部及びデータベースは同じサーバに設けられてもよいし、異なるサーバに設けられネットワークを介して連携して動作することとしてもよい。

【 0 0 9 3 】

(付記 1) 著作物を販売する方法であって、
前記著作物を販売し、
ネットワークを介して前記著作物を購入した購入者に関する情報を提供する、
ことを特徴とする販売方法。

【 0 0 9 4 】

(付記 2) 前記著作物を販売する際に、前記著作物についての著作権に基づ
く権利単位に販売する、
ことを特徴とする付記 1 記載の販売方法。

【 0 0 9 5 】

(付記 3) 前記購入者に関する情報を提供する際に、前記販売された権利単
位に前記購入者に関する情報を提供する、
ことを特徴とする付記 2 記載の販売方法。

【 0 0 9 6 】

(付記 4) 前記著作物を販売する販売者に対して、前記著作物の種別に対応
して著作権に基づく権利を通知し、
前記通知された権利の中のうち販売対象とする権利に関する情報を前記販売者
から取得する、
ことを特徴とする付記 2 記載の販売方法。

【 0 0 9 7 】

(付記 5) 前記購入者に関する情報は、任意の者に対して提供される、
ことを特徴とする付記 1 記載の販売方法。

(付記 6) 購入代金の入金を確認した後、前記購入者に関する情報を提供す
る、
ことを特徴とする付記 1 記載の販売方法。

【 0 0 9 8 】

(付記 7) 著作物を購入する方法であって、
前記著作物を購入し、
前記著作物の購入者としてネットワークを介して公開されることにより、前記
購入者として証明を受ける、

ことを特徴とする購入方法。

【0099】

（付記8） 著作物の販売を委託する方法であって、
前記著作物について著作権に基づく権利単位に販売を委託し、
前記権利を購入した購入者に関する情報の提供を受ける、
ことを特徴とする販売委託方法。

【0100】

（付記9） コンピュータに実行させることによって、著作物を販売する制御
を該コンピュータに行なわせるプログラムを記録した、コンピュータで読み取り
可能な記録媒体であって、
前記著作物を販売し、
ネットワークを介して前記著作物を購入した購入者に関する情報を提供する、
ことを含む制御をコンピュータに行なわせるプログラムを記録した記録媒体。

【0101】

（付記10） ネットワークに接続され、著作物を販売する販売装置であって
、
前記著作物を購入した購入者に関する情報を取得する購入情報取得手段と、
前記ネットワークを介して前記購入者に関する情報を提供する情報提供手段と
、
を備えることを特徴とする販売装置。

【0102】

（付記11） 著作物を販売する制御をコンピュータに行なわせるコンピュー
タ・プログラムを具現化する伝送信号であって、
前記コンピュータ・プログラムは、
前記著作物を販売し、
ネットワークを介して前記著作物を購入した購入者に関する情報を提供する、
ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする伝送信号。

【0103】

（付記12） 著作物を販売する制御をコンピュータに行なわせるコンピュー

タ・プログラムを具現化する伝送媒体であって、
前記コンピュータ・プログラムは、
前記著作物を販売し、
ネットワークを介して前記著作物を購入した購入者に関する情報を提供する、
ステップをコンピュータに行なわせることを特徴とする伝送媒体。

【 0 1 0 4 】

【発明の効果】

以上詳細に説明したように、本発明によれば、著作物を権利単位に販売し、購入された権利に関する情報を提供することにより、どこの誰がどの著作物のどのような権利を有しているのかが明らかになるため、著作物を販売しつつ、故意に著作権を侵害する者に対しては、その行為を抑止し、著作権を十分理解していない購入者に対しては、知らずに著作権を侵害することを防ぐことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施形態に係わる販売システムの構成図である。

【図 2】

著作権に基づく権利を示す図である。

【図 3】

作品種別テーブルのデータ構造の一例を示す図である。

【図 4】

権利テーブルのデータ構造の一例を示す図である。

【図 5】

作者マスタのデータ構造の一例を示す図である。

【図 6】

作品マスタのデータ構造の一例を示す図である。

【図 7】

購入者情報ファイルのデータ構造の一例を示す図である。

【図 8】

銀行マスタのデータ構造の一例を示す図である。

【図 9】

支店マスタのデータ構造の一例を示す図である。

【図 1 0】

データ変遷を説明する図である。

【図 1 1】

販売装置で行う処理の大まかな流れを示すフローチャート（その 1）である。

【図 1 2】

販売装置で行う処理の大まかな流れを示すフローチャート（その 2）である。

【図 1 3】

販売装置で行う処理の大まかな流れを示すフローチャート（その 3）である。

【図 1 4】

作品種別選択画面の一例を示す図である。

【図 1 5】

閲覧登録選択画面の一例を示す図である。

【図 1 6】

作品展示画面の一例を示す図である。

【図 1 7】

購入権利情報画面の一例を示す図である。

【図 1 8】

購入画面の一例を示す図である。

【図 1 9】

作品登録画面の一例を示す図である。

【図 2 0】

作品の詳細情報画面の一例を示す図である。

【図 2 1】

作者詳細情報画面の一例を示す図である。

【図 2 2】

販売している作品及び権利を展示する処理を示すフローチャートである。

【図 2 3】

購入権利情報を提供する処理を示すフローチャートである。

【図 24】

購入情報を取得する処理を示すフローチャートである。

【図 25】

作品情報の入力を指示する際の処理を示すフローチャートである。

【図 26】

作品情報を取得する処理を示すフローチャートである。

【図 27】

入金を確認する処理を示すフローチャートである。

【図 28】

情報処理装置の構成図である。

【図 29】

コンピュータで読み取り可能な記録媒体を示す図である。

【符号の説明】

- 1 販売装置
- 2 作品情報取得部
- 3 情報提供部
- 4 作品情報提供部
- 5 購入権利情報提供部
- 6 入金確認部
- 7 購入情報取得部
- 11 作品種別テーブル
- 12 権利テーブル
- 13 作者マスタ
- 14 作品マスタ
- 15 購入情報ファイル
- 16 銀行マスタ
- 17 支店マスタ
- 20 情報処理装置

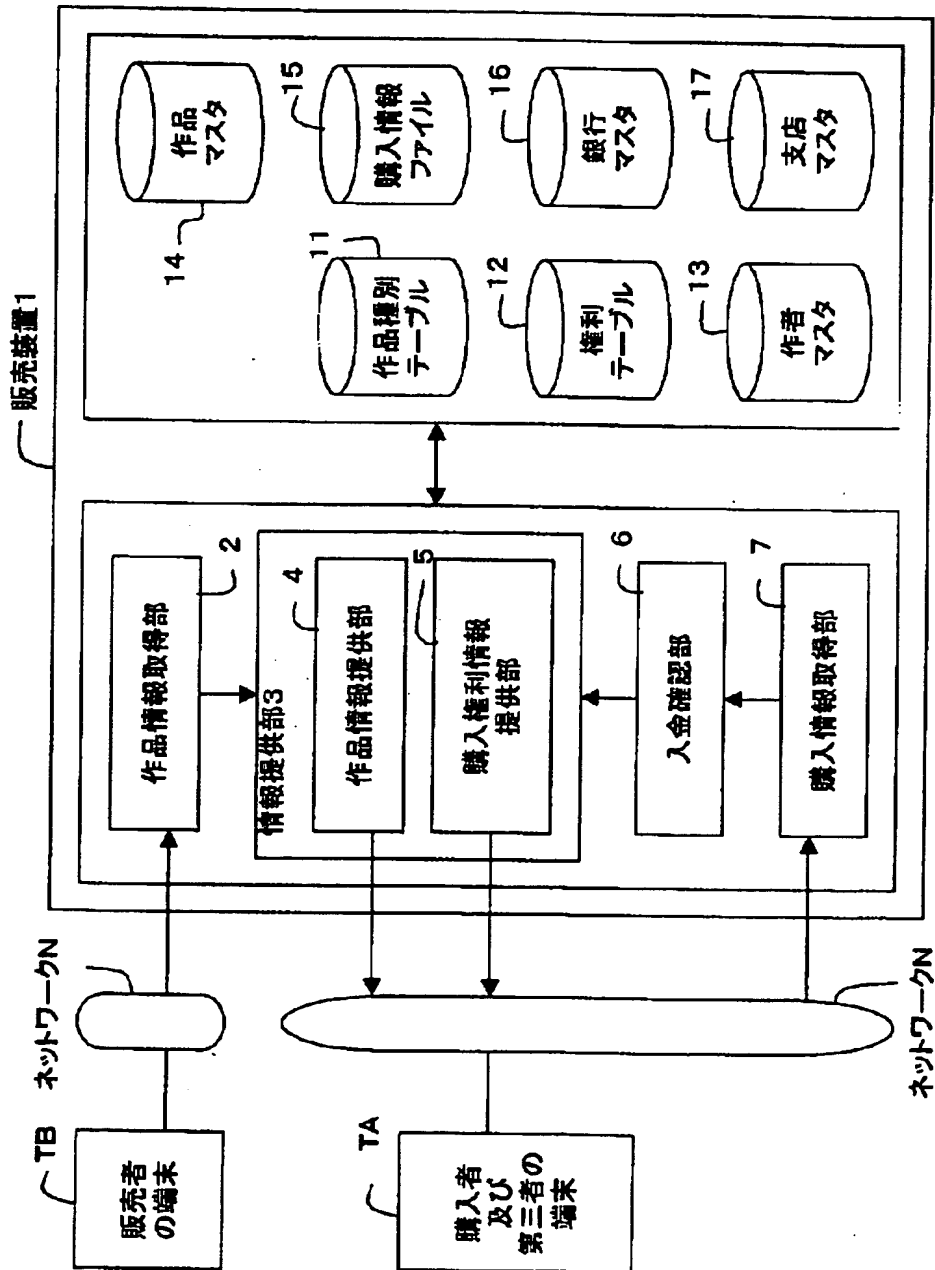
- 2 1 C P U
- 2 2 メモリ
- 2 3 入力装置
- 2 4 出力装置
- 2 5 外部記憶装置
- 2 6 媒体駆動装置
- 2 7 ネットワーク接続装置
- 2 8 バス
- 2 9 可搬記録媒体
- 3 0 データベース
- 3 1 回線
- T A、T B 端末
 - N ネットワーク
 - S ステップ

【書類名】

図面

【図 1】

本発明に係る販売システムの構成図



【図 2】

著作権に基づく権利を示す図

権利 著作物	複製権	上映権 演奏権	公衆 送信権	展示権	上映権 頒布権	貸与権	翻訳権 翻案権
音楽	○	○	○			○	○
美術	○		○	○		○	○
映画	○		○		○		○
写真	○		○	○		○	○
プログラム	○		○			○	○
・							

【図 3】

商品種別テーブルのデータ構造の一例を示す図

作品種別テーブル11

項目	Data名称	属性	長さ	例
1	作品種別コード	Num	2	01
2	作品種別名	Cha	10	絵画
3	権利フラグテーブル			
	権利コード1	Num	1	1
	権利コード2	Num	1	0
	権利コード3	Num	1	1
	権利コード4	Num	1	1
	権利コード5	Num	1	0
	権利コード6	Num	1	1
	権利コード7	Num	1	1
	権利コード8	Num	1	0
	権利コード9	Num	1	0
	権利コード10	Num	1	0

【図 4】

権利テーブルのデータ構造の一例を示す図

権利テーブル12

項目	Data名称	属性	長さ	例
1	権利コード	Num	2	
2	権利名	Cha	20	01.複製権 02.上演権・演奏権 03.公衆送信権 04.展示権 05.上映権・頒布権 06.貸与権 07.翻訳権・翻案権

【図 5】

作者マスタのデータ構造の一例を示す図

作者マスタ13

項目	Data名称	属性	長さ	例
1	作者コード	Num	5	00001
2	氏名	Cha	20	デザイナー 雄二
3	郵便番号	Num	7	030XXXX
4	住所	Cha	60	青森県青森市A町B111-1
5	電話番号	Num	15	017-7XX-YYYY
6	e-mailアドレス	Cha	30	f.taro@y.v.zzzz
7	性別	Num	1	1
8	年齢	Num	3	30
9	職業	Cha	20	SE
10	銀行コード	Num	4	0001
11	支店コード	Num	3	001
12	口座番号	Num	7	9999999
13	プロフィール	Cha	200

【図 6】

作品マスタのデータ構造の一例を示す図

作品マスタ14

項目	Data名	属性	長さ	例
1	作品種別コード	Num	2	01
2	作品コード	Num	8	00000001
3	ファイル名	Cha	8	clip0001
4	作品名	Cha	30	クリップアート
5	作者コード	Cha	4	00001
6	作品登録日	Date	8	20000720
7	作品紹介情報	Cha	100
8	売買設定テーブル			
	権利コード1	Num	1	1
	設定数1	Num	4	10
	在庫数1	Num	4	2
	金額1	Num	7	1000
	権利コード2	Num	1	3
	設定数2	Num	4	5
	在庫数2	Num	4	3
	金額2	Num	7	3000
	権利コード3	Num	1	4
	設定数3	Num	4	0
	在庫数3	Num	4	0
	金額3	Num	7	0
	権利コード4	Num	1	6
	設定数4	Num	4	0
	在庫数4	Num	4	0
	金額4	Num	7	0
	権利コード5	Num	1	7
	設定数5	Num	4	0
	在庫数5	Num	4	0
	金額5	Num	7	0
	権利コード6	Num	1	0
	設定数6	Num	4	0
	在庫数6	Num	4	0
	金額6	Num	7	0
	権利コード7	Num	1	0
	設定数7	Num	4	0
	在庫数7	Num	4	0
	金額7	Num	7	0
	権利コード8	Num	1	0
	設定数8	Num	4	0
	在庫数8	Num	4	0
	金額8	Num	7	0
	権利コード9	Num	1	0
	設定数9	Num	4	0
	在庫数9	Num	4	0
	金額9	Num	7	0
	権利コード10	Num	1	0
	設定数10	Num	4	0
	在庫数10	Num	4	0
	金額10	Num	7	0

【図7】

購入情報ファイルのデータ構造の一例を示す図

購入情報ファイル15

項目	Data名称	属性	長さ	例
1	作品コード	Num	8	00000001
2	権利コード	Num	2	01
3	氏名	Cha	20	青森花子
4	郵便番号	Num	7	030XXXX
5	住所	Cha	60	青森県青森市
6	電話番号	Num	15	017-7YY-ZZZZ
7	e-mailアドレス	Cha	30	a.hanako@xxx.yyy
8	性別	Num	1	2
9	年齢	Num	3	20
10	職業	Cha	20	学生
11	支払い方法	Num	1	3
12	予約日	Date	8	20000820
13	支払い期限日	Date	8	20000910
14	入金日	Date	8	00000000
15	入金額	Num	7	0
16	入金フラグ	Num	1	0

【図8】

銀行マスタのデータ構造の一例を示す図

銀行マスタ16

項目	Data名称	属性	長さ	例
1	銀行コード	Num	4	0001
2	銀行名	Cha	20	〇△銀行
3	取りまとめ店コード	Num	3	001

【図 9】

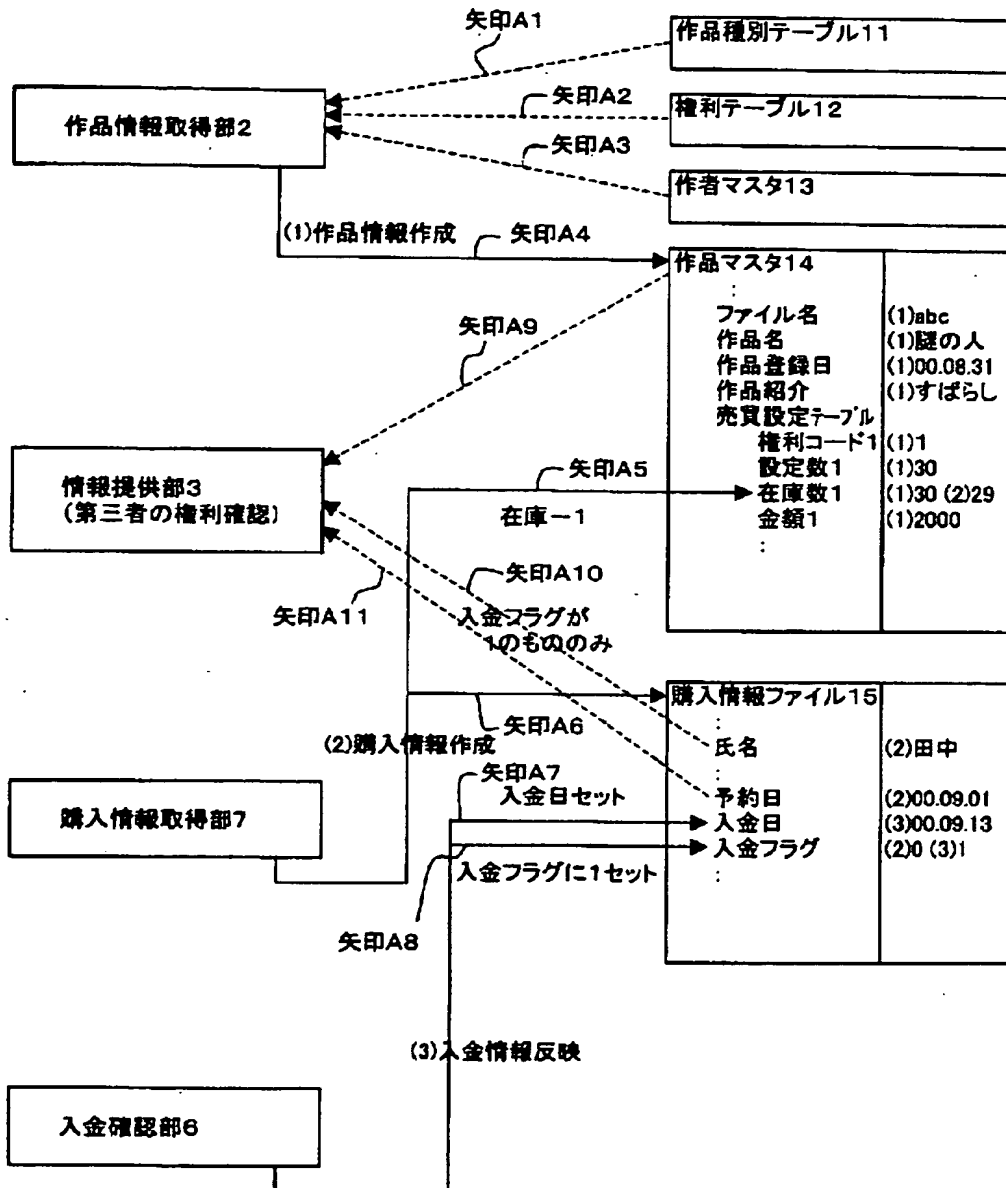
支店マスタのデータ構造の一例を示す図

支店マスタ17

項目	Data名称	属性	長さ	例
1	銀行コード	Num	4	0001
2	支店コード	Num	3	001
3	支店名漢字	Cha	20	青森支店
4	支店名カナ	Cha	30	アオモリシテン

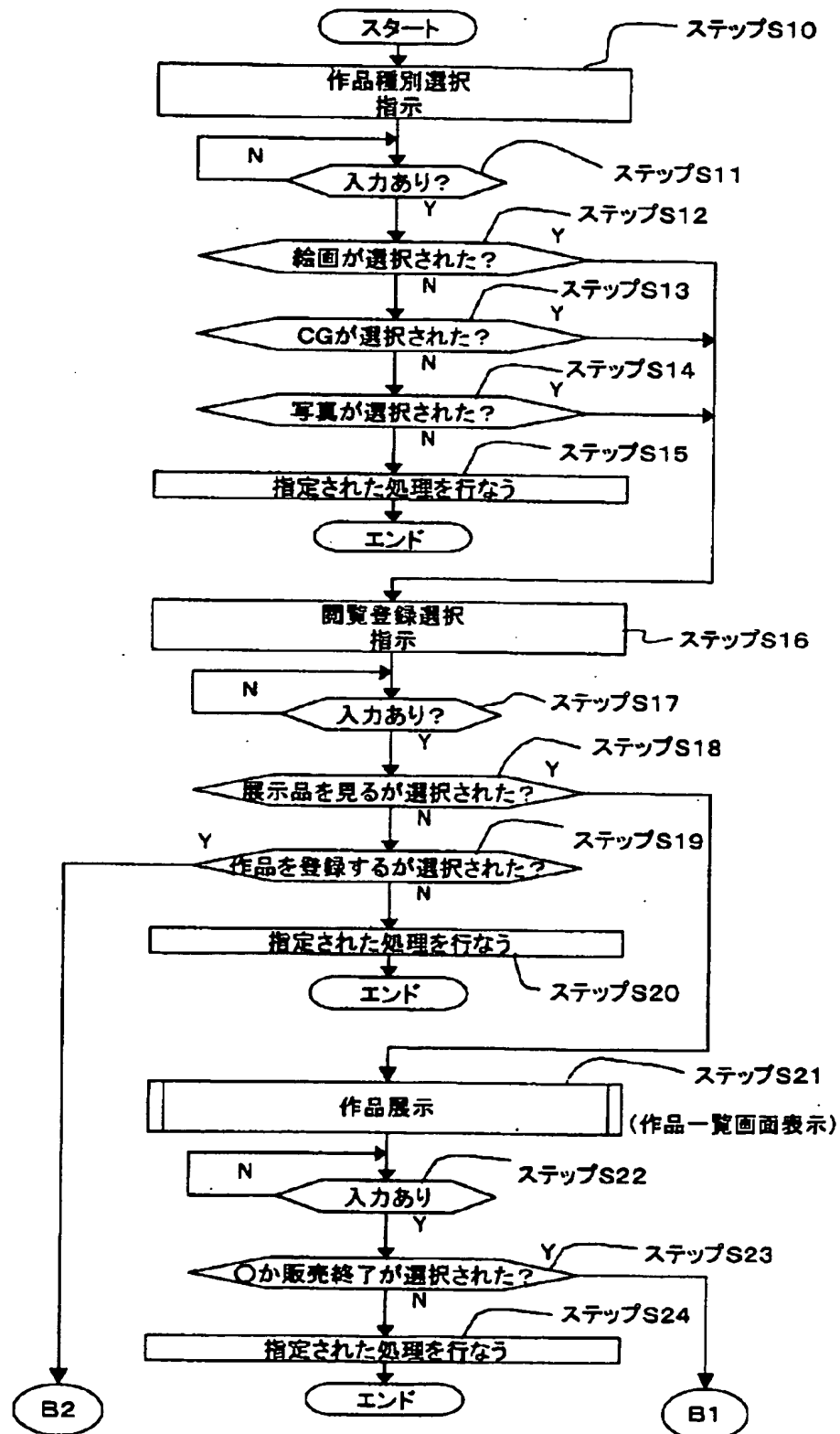
【図 10】

データ変遷を説明する図



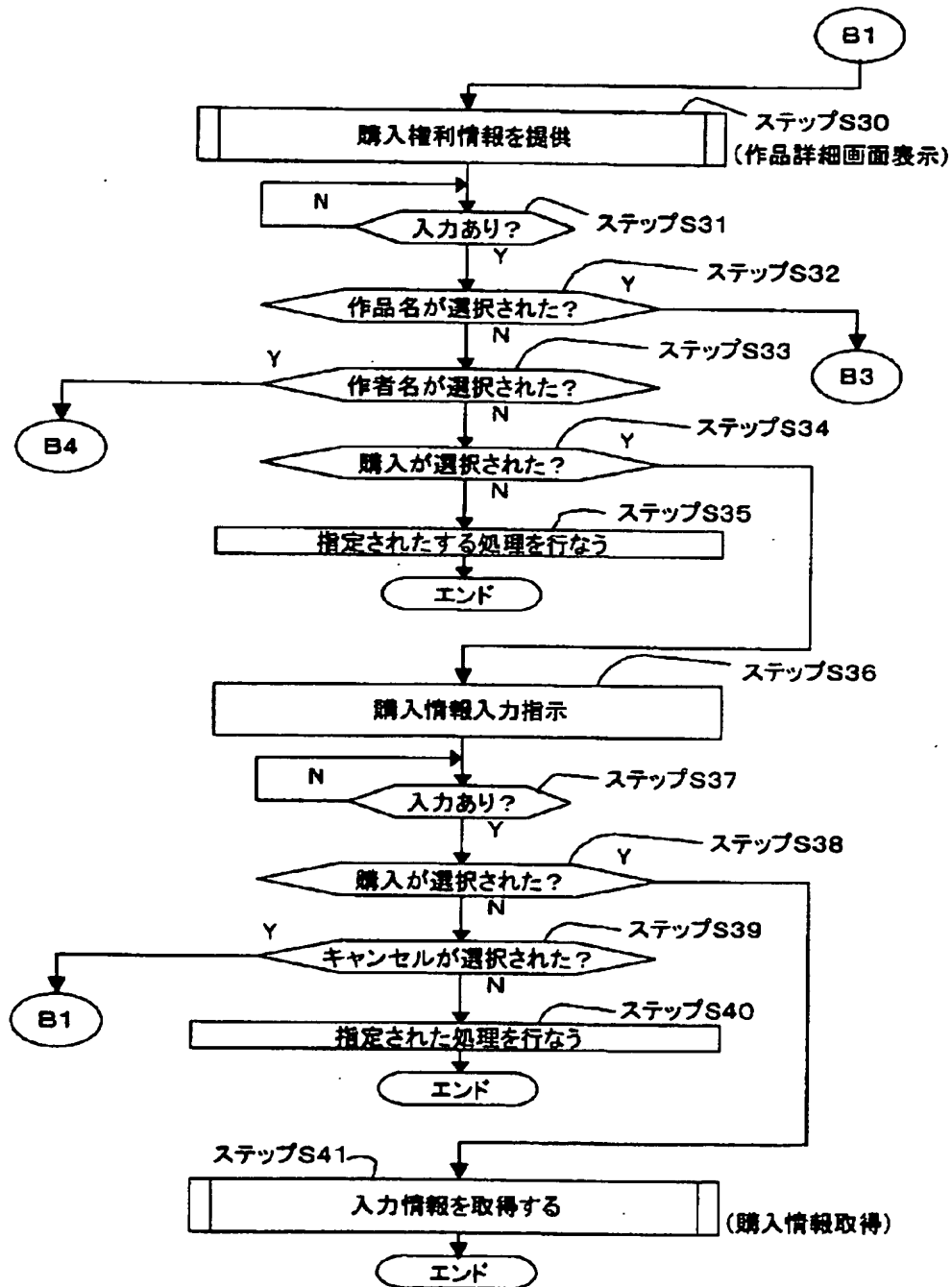
【図 11】

販売装置で行う処理の大まかな流れを示す フローチャート(その1)



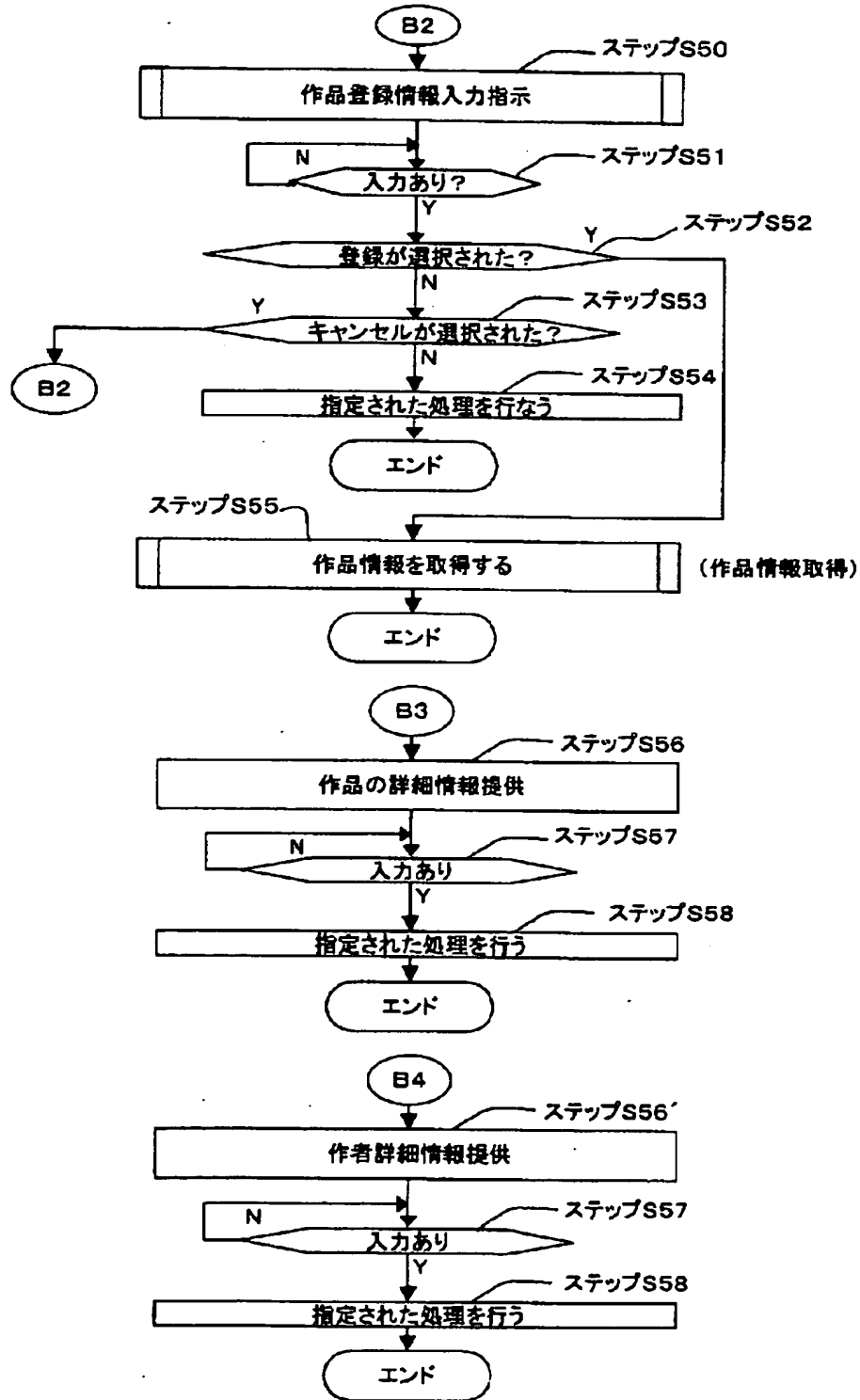
【図12】

販売装置で行う処理の大まかな流れを示す
フローチャート(その2)



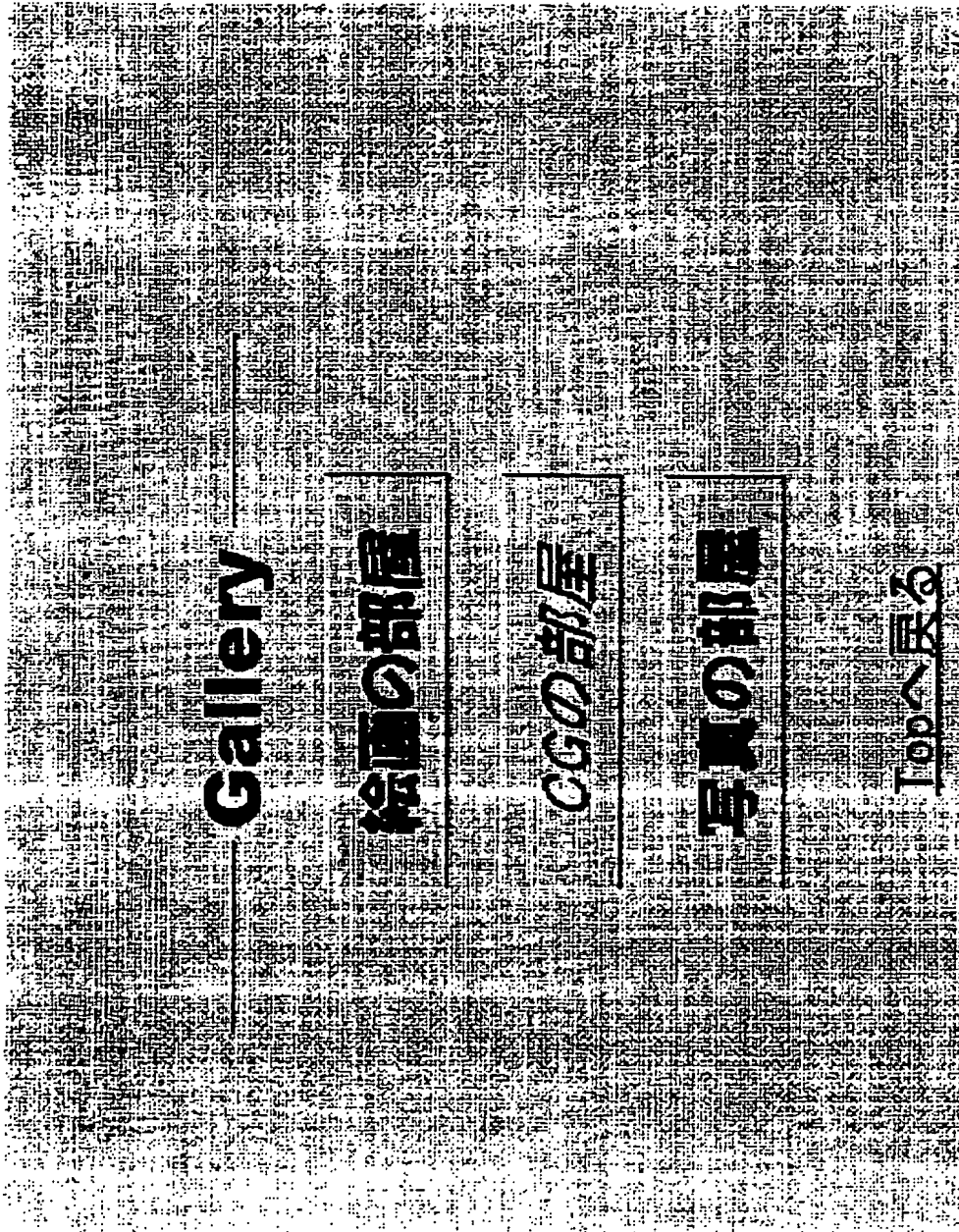
【図13】

販売装置で行う処理の大まかな流れを示す
フローチャート(その3)



【図14】

作品種別選択画面の一例を示す図








【図15】

閲覧登録選択画面の一例を示す図



【図16】

作品展示画面の一例を示す図

絵画の部屋					
権利の説明					
作品	複製権	公衆送信権	展示権	貸与権	譲渡権
	○	○	×	×	×
	○	販売終了	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	○	○
	販売終了	販売終了	×	×	×

次ページ

【図17】

購入権利情報画面の一例を示す図

作品詳細情報

作品名 クリップアート

作者名 デザイナー 雄二

複製権



商品設定

設定金額	1000円
在庫	8

購入者

氏名	購入日
富士通 太郎	2000/8/1
富士通 花子	2000/8/3

購入

[Topへ戻る](#)
[部屋へ戻る](#)

【図18】

購入画面の一例を示す図

作品購入画面

氏名	<input type="text" value="青森花子"/>
郵便番号	<input type="text" value="030.XXXX"/>
住所	<input type="text" value="青森県青森市"/>
電話番号	<input type="text" value="017-7YY-ZZZZ"/>
e-mail	<input type="text" value="a-hanako@xxx.yyyy"/>
性別	<input type="radio"/> 男性 <input checked="" type="radio"/> 女性
年齢	<input type="text" value="20"/>
職業	<input type="text" value="学生"/>
支払い方法 <input type="radio"/> 銀行振込 <input checked="" type="radio"/> 郵便局振込 <input type="radio"/> 代金引換え	

【図19】

作品登録画面の一例を示す図

デザイナー雄二さんの作品登録画面

作品登録

送信ファイル名

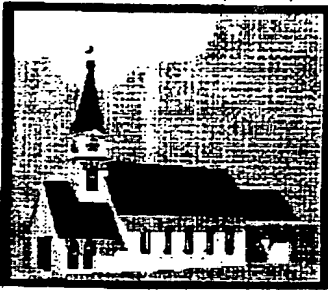
販売対象	販売可否		査定金額	販売個数
複製権	<input checked="" type="radio"/> 可能	<input type="radio"/> 不可	<input type="text"/>	<input type="text"/>
公衆送信権	<input checked="" type="radio"/> 可能	<input type="radio"/> 不可	<input type="text"/>	<input type="text"/>
展示権	<input type="radio"/> 可能	<input checked="" type="radio"/> 不可	<input type="text"/>	<input type="text"/>
貸与権	<input type="radio"/> 可能	<input checked="" type="radio"/> 不可	<input type="text"/>	<input type="text"/>
翻案権	<input type="radio"/> 可能	<input checked="" type="radio"/> 不可	<input type="text"/>	<input type="text"/>

作品介绍

【図20】

作品の詳細情報画面の一例を示す図

作品介绍

作品名 クリップアート	
作者名 <u>デザイナー 雄二</u>	
	<div>作品登録 2000/7/20</div> <div>作品介绍</div> <div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>

[Topへ戻る](#) [購入画面へ戻る](#)

【図 2 1】

作者詳細情報画面の一例を示す図

作者紹介

デザイナー 雄二

プロフィール

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

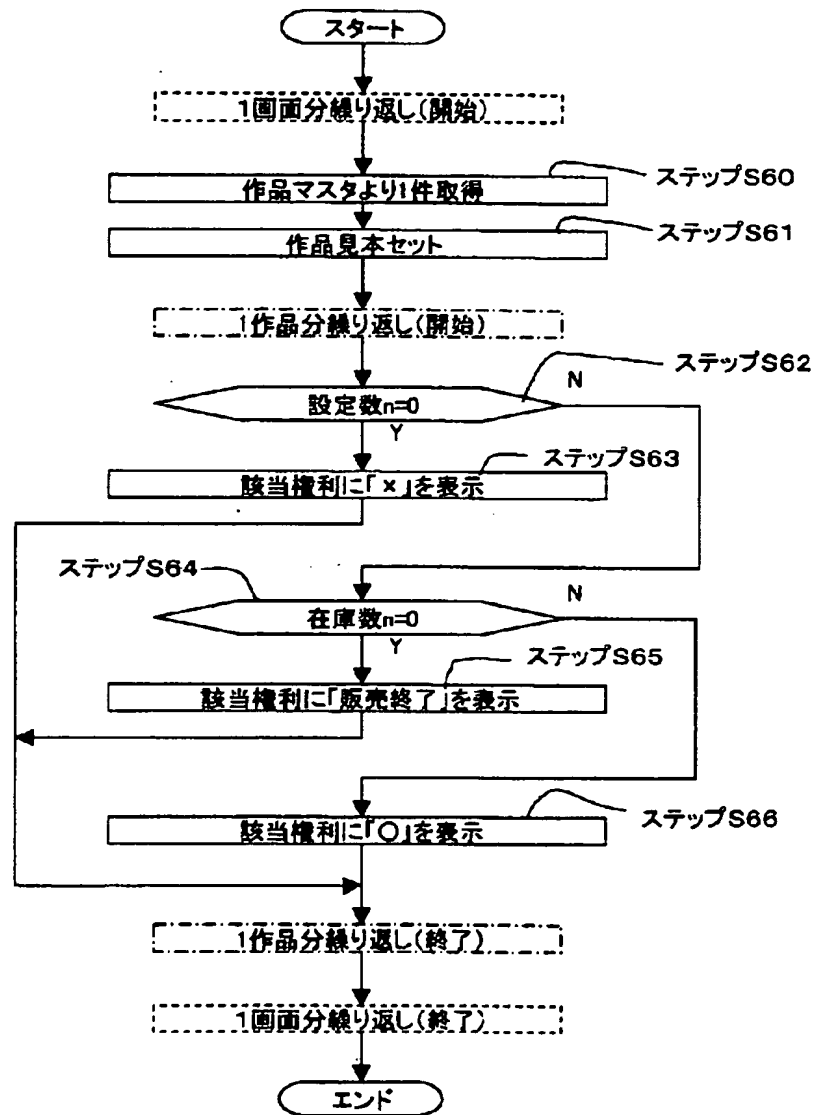
.....

[Topへ戻る](#)

[購入画面へ戻る](#)

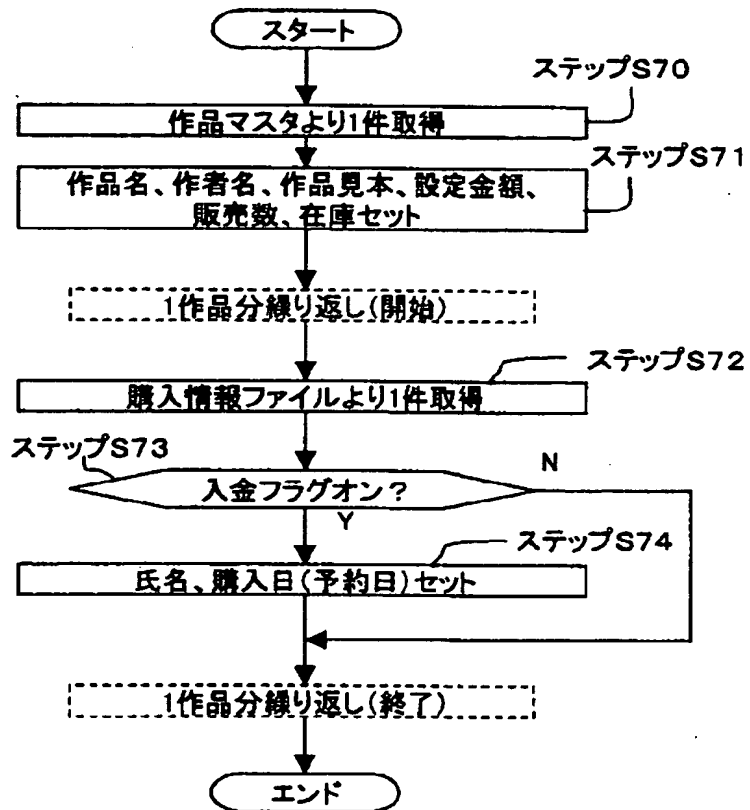
【図 22】

販売している作品及び権利を展示する処理
を示すフローチャート



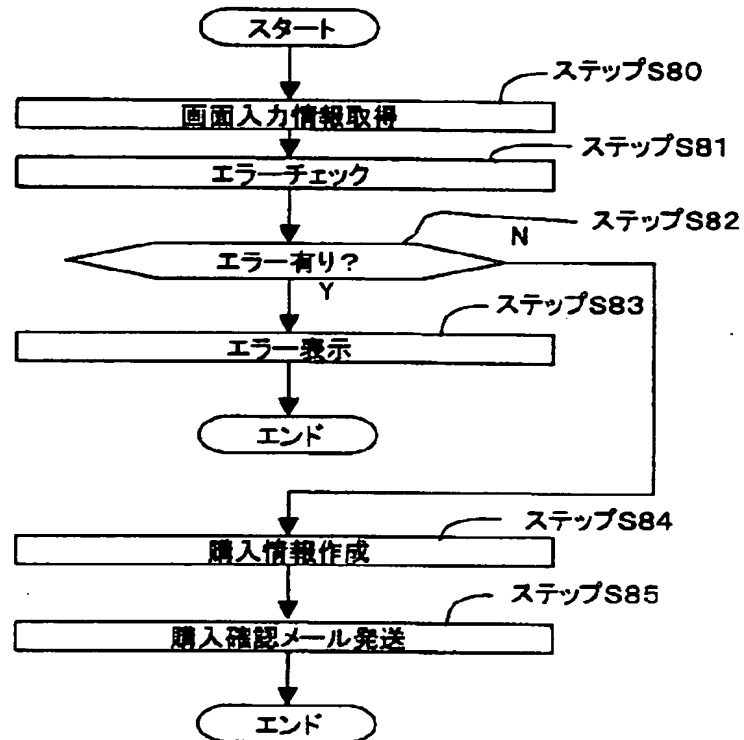
【図 23】

購入権利情報を提供する処理 を示すフローチャート



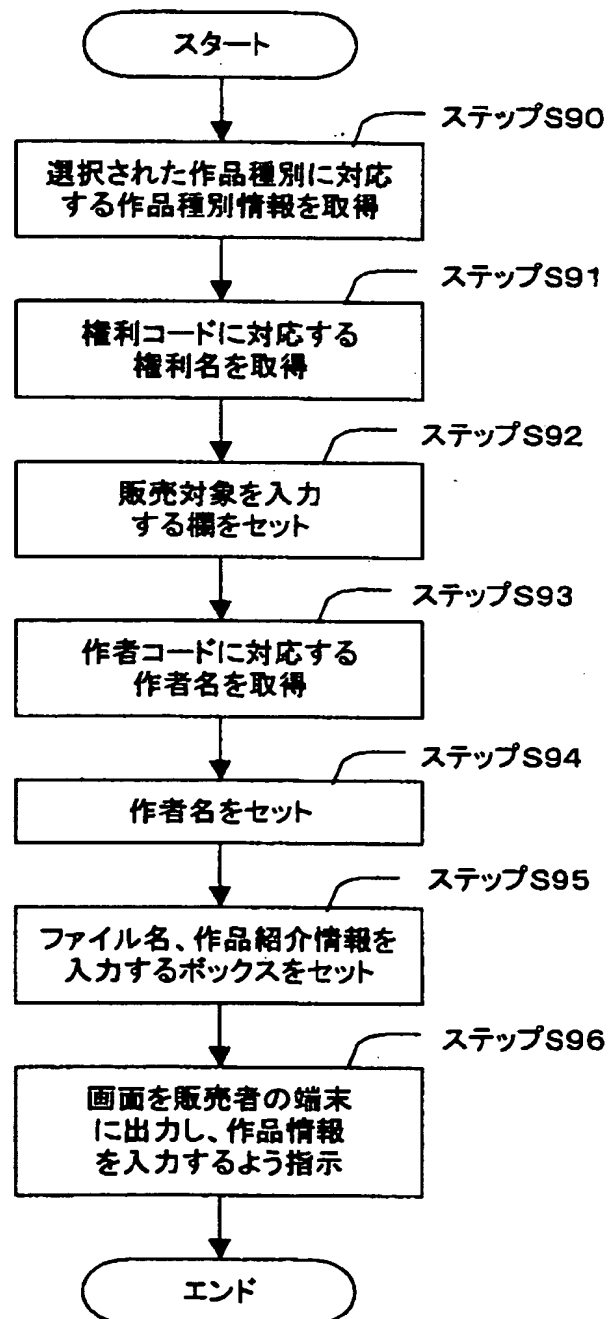
【図 24】

購入情報を取得する処理を示すフローチャート



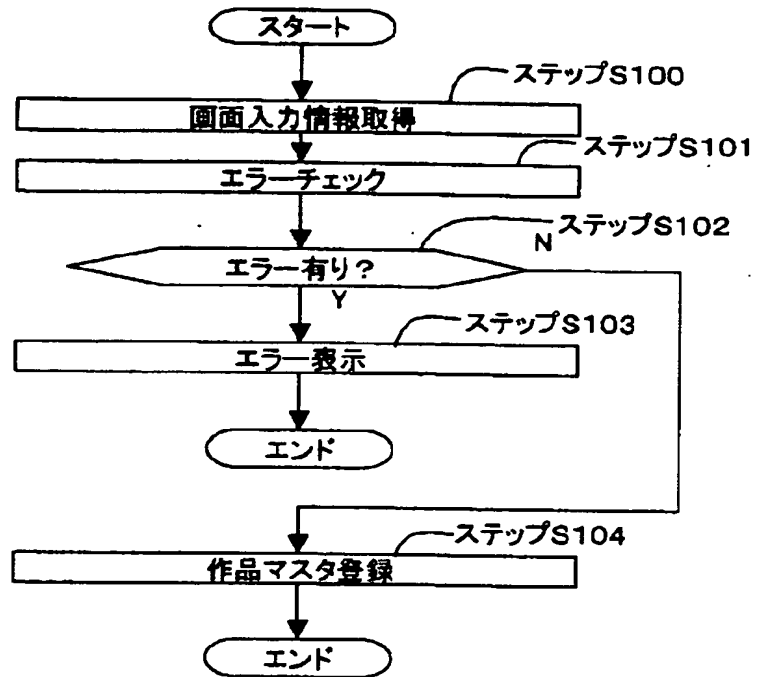
【図 25】

作品情報の入力を指示する際の 処理を示すフローチャート



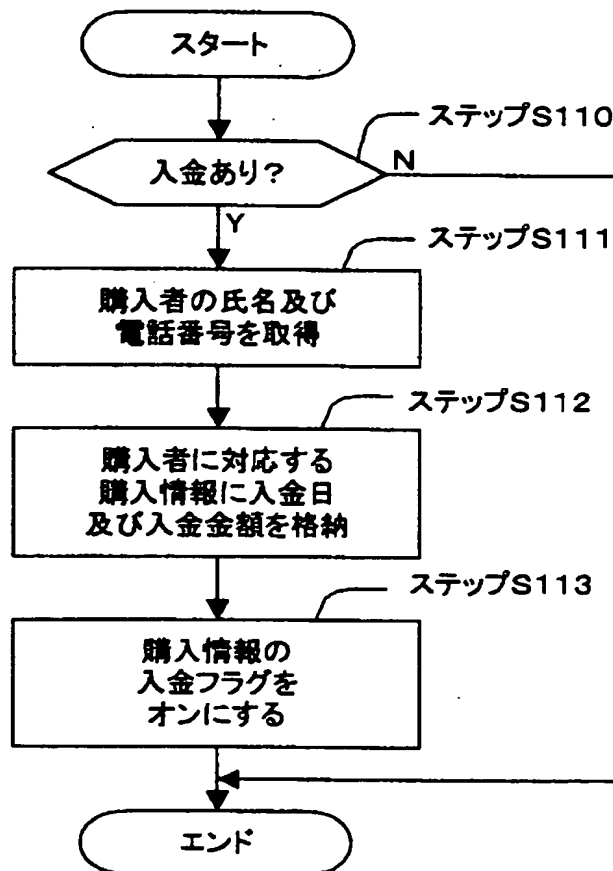
【図 26】

作品情報を取得する処理を示すフローチャート



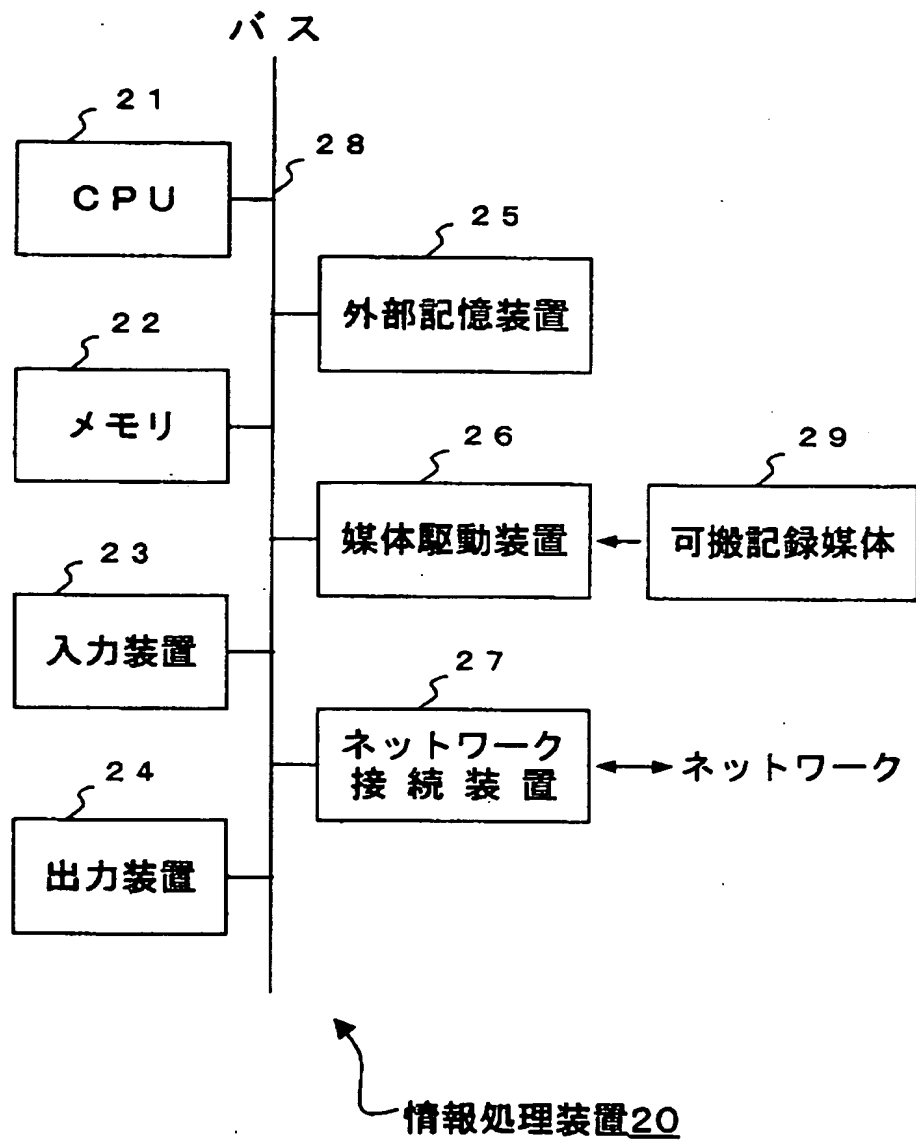
【図 27】

入金を確認する処理を示す フローチャート



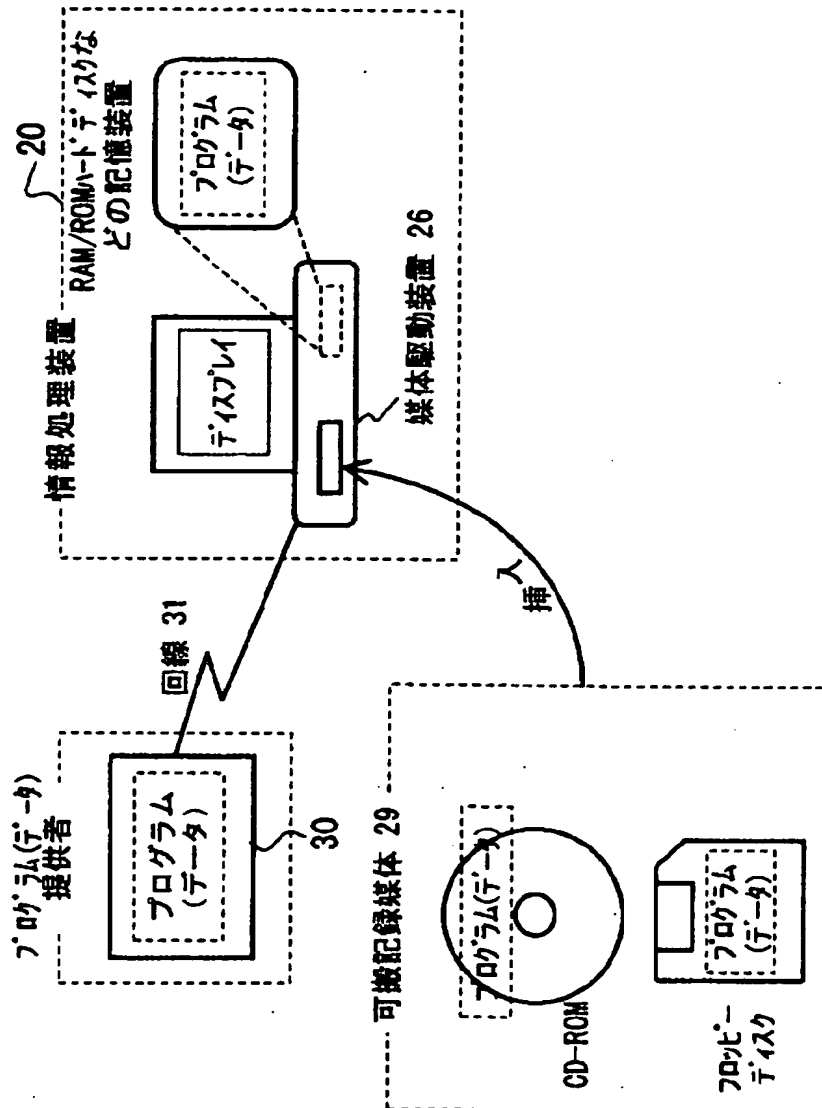
【図 2 8】

情 報 処 理 装 置 の 構 成 図



【図 29】

コンピュータで読み取り可能な記録媒体を示す図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 著作物を販売しつつ、故意に著作権を侵害する者に対して、その行為を抑止する。

【解決手段】 販売装置 1 は、ネットワーク N を介して、購入者及び販売者の端末 T A 及び T B と接続されている。販売装置 1 は、作品情報取得部 2、情報提供部 3、入金確認部 6 及び購入情報取得部 7 を備える。作品情報取得部 2 は、ネットワーク N を介して販売者から著作物の権利単位に販売委託を受ける。購入情報取得部 7 は、ネットワーク N を介して購入者に著作物を権利単位に販売し、購入の際に購入者に関する情報を取得する。入金確認部 6 が購入代金の入金を確認すると、情報提供部 3 は、ネットワーク N を介して購入者に関する情報を提供する。何人もこの提供される情報を、ネットワーク N を介して閲覧することができる。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社